



広島大学長 越智光夫

戸田さんは広島市の出身で、お父さまの戸田康次郎先生は広島大学歯学部2期生です。

私は広島で生まれ、高校まで広島で過ごしました。祖父の家に住んでいた時に、東千田にある広島大学の前を通っており、すてきなキャンパスという印象がありました。今も広島が好きで、よく帰省しています。それだけ

「平和科」を全学選択必修科目にしています。学部生は、競争・原爆・貧困・人口問題・環境など28の科目群から一つを履修し、平和記念資料館などテーマメントを訪ねるレポートを作成します。2018年度からは、各国の政府代表者や駐日大使を本学に招き、平和について学生や市民に語っていただくピース・トーク・マラソンも実施しています。リトニアの首相やエジプトの高等教育大臣にもお会いできました。平和のために何かできることを一人一人が見つけてほしいと願っています。

そのような取り組みも魅力の一つです。広島で育った私にとっても、広島大学は、研究や学問において押しも押されぬ、中国・四国地方を代表する大学です。

俳優 戸田菜穂

広島大学ならではの取り組み

戸田 広島では、小学校から平和学習が行われ、私も学んだ一人です。広島と長崎の原爆の日、そして終戦記念日と続く8月は、あらためて平和について考える機会だと思います。広島大学では平和について何か取り組みをされていますか。

越智 広島大学は、原爆被爆から4年後、廃墟と化した広島の地に開学しました。初代学長の森戸辰男先生が掲げた、「自由で平和な一つの大学」を建学の精神とし、「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げています。私も学長に就任した4年前から、平和を希求し、チャレンジする国際的教養人の育成をスローガンに掲げています。

「スーパーグローバル大学創成支援事業」タイプA(トップ型)

国立	北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、 広島大学* 、九州大学
私立	慶應義塾大学、早稲田大学

*中国・四国では広島大学が唯一

当たらたそうです。1950年に広島市が募集した体験記に、祖父が寄稿していたことを父から教わり、当時のことを知りました。うれしい内容ですが、いつかぜひ娘たちにも読んでほしいと思います。広島大学での平和を主題にした教育は、具体的にどのような内容ですか。

越智 広島大学では、2011年度から「平和科」について考える「平和科」を全学選択必修科目にしています。学部生は、競争・原爆・貧困・人口問題・環境など28の科目群から一つを履修し、平和記念資料館などテーマメントを訪ねるレポートを作成します。2018年度からは、各国の政府代表者や駐日大使を本学に招き、平和について学生や市民に語っていただくピース・トーク・マラソンも実施しています。リトニアの首相やエジプトの高等教育大臣にもお会いできました。平和のために何かできることを一人一人が見つけてほしいと願っています。

年4月には総合科学部に国際共創学科を設置しました。ここでの授業は原則英語で、日本人と留学生が一緒に学んでいます。今年5月1日現在で、52の国と地域で314大学・機関と大学間国際交流協定を締結し、海外からの留学生数も通年で3000人を超えています。5月には、学内の力の一隅に、外国人留学生が英語で気軽に相談でき、留学や国際交流に興味を持つ学生も立ち寄れる「ウェルカムスペース」を開設しました。

人としての力を高める

戸田 国際交流が進むと多様性が増える。昨今、V字回復の勢いがある。

対人能力ランキング 全国5位! 行動力ランキング 全国3位!

順位	大学名	総合得点
1	九州大学	33.41
2	京都大学	32.78
3	大阪大学	32.16
4	東北大学	32.15
5	広島大学	32.06

総合評価を獲得!

人生に絶望しないで

戸田 実は学生時代のフランス旅行で、映画や文学などの日本文化について聞かれたのですが、何も答えられず恥ずかしい思いをしました。いかに多くの引き出しを持つ必要があるか、人間的な魅力につながると思います。

人生に絶望しないで

越智 変化の激しい時代だからこそ、一つの専門だけでなく、多様な分野へチャレンジする精神を身につけてほしいです。

人生に絶望しないで

越智 変化の激しい時代だからこそ、一つの専門だけでなく、多様な分野へチャレンジする精神を身につけてほしいです。



俳優 戸田菜穂

1974年広島市生まれ。玉川大学文学部外国語学科(フランス語専攻)卒業。第15回ホリプロタレントスカウトキャラバングランプリを受賞し、翌年芸能界デビュー。NHK連続テレビ小説「ええにょぼ」でヒロインを演じる。その後、多数のドラマ・映画に出演。「NHK俳句」の第3週の司会を担当。舞台や司会にも挑戦し、さらに活躍の場を広げている。趣味は、俳句、三味線、小唄。著書に「恋俳句レッスン 俳句は恋を育てる」(マガジンハウス)など。

広島大学長 越智光夫

1952年愛媛県生まれ。1977年広島大学医学部卒業。2007年～2011年、広島大学病院院長を務める。2015年広島大学長に就任。ひざ関節軟骨の3次元自家培養軟骨移植法を開発し、日本発の再生医療として初めて実用化につながるなど、世界の最先端を走る整形外科医。2004年内閣府の日本学術会議会長賞を受賞。2015年紫綬褒章を受章。広島東洋カープ、サンフレッチェ広島のチームドクターとして長年選手を支えてきた。

人生に絶望しないで

越智 変化の激しい時代だからこそ、一つの専門だけでなく、多様な分野へチャレンジする精神を身につけてほしいです。

人生に絶望しないで

越智 変化の激しい時代だからこそ、一つの専門だけでなく、多様な分野へチャレンジする精神を身につけてほしいです。

2019年4月 総合科学研究科 / 大学院医系科学研究科



東広島キャンパス / 東広島市 霞キャンパス / 広島市南区霞 1-2-3 東千田キャンパス / 広島市中区東千田町 1-1-1

広島大学 自由で平和な一つの大学 平和を希求する精神 新たななる知の創造 豊かな人間性を培う教育 地域社会・国際社会との共存 絶えざる自己変革

広島大学に関する書籍が出版されました!

「地方国立大学」の時代 2020年に何が起ころのか 木村 誠著 中公新書ラクレ 880円(税別)

【第1章】平成と大学 30年で何が変わったのか
【第2章】国立大学の今 現場で何が起きているのか
【第3章】2020年地方国立大学による「日本復活」が始まる
【第4章】広島大学の挑戦 「地方」から「世界」の大学になるために
【第5章】広島大学への問い 高校生の夢をどのように叶えるか